

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第1～6学年 1組～9組

教科担当者：

使用教科書：（新編現代の国語（東京書籍））

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活において、必要となる国語の特質を理解し、適切に使うことができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活において、批判的思考を働かせて自分の思いや考えを広げたり深めたりし、伝えることができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉の価値を理解して言語感覚を磨き続けるとともに、言葉を通じて他者と関わり、思いや考えを深めていこうとする態度を身に付けている。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	生涯にわたる社会生活において、批判的思考を働かせて自分の思いや考えを広げたり深めたりし、伝えることができる。	言葉の価値への認識を深めて言語感覚を磨き、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話・聞	書	読						
A 単元「文と文の関係（情報同士の関係）を考える」 【知識及び技能】 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。〔(1)オ〕 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うことができる。〔(1)カ〕 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。〔(2)ア〕 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。〔C(1)ア〕 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めて言語感覚を磨き、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする。	・指導事項：文と文の関係・パターン、文章から関係を読み取る（『美しさの発見』） ・教材：スライド、ワークシート、レポート ・一人1台端末の活用等：LMS上のレポート学習、参考資料ファイル・動画の配信				○				2	
B 単元「論理的に意見を書く」 【知識及び技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。〔(1)ア〕 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。〔(1)オ〕 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。〔(2)イ〕 【思考力、判断力、表現力等】 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。〔B(1)イ〕 ・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。〔C(1)イ〕 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めて言語感覚を磨き、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする。	・指導事項：論理の見極め、論構成、論作文 ・教材：スライド、ワークシート、レポート ・一人1台端末の活用等：LMS上のレポート学習、参考資料ファイル・動画の配信				○	○	○		3	
C 単元「推論の方法」 【知識及び技能】 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。〔(1)エ〕 ・推論の仕方を理解し使うこと。〔(2)ウ〕 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。〔C(1)ア〕 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めて言語感覚を磨き、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする。	・指導事項：推論の考え方（演繹・機能・仮説形成）、文章からの読み取り ・教材：スライド、ワークシート、レポート ・一人1台端末の活用等：LMS上のレポート学習、参考資料ファイル・動画の配信				○				3	
定期考査						○	○			1

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ 新編 言語文化 （東京書籍） ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活において、必要となる国語の特質を理解し、適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活において、批判的思考を働かせて自分の思いや考えを広げたり深めたりし、伝えることができ

【学びに向かう力、人間性等】言葉の価値を理解して言語感覚を磨き続けるとともに、言葉を通じて他者と関わり、思いや考えを深めていこうとす

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・古典における文法や、現代文における表現等、言語に関する事項を的確に理解することができる。 ・作品に描かれる人物の心情などを、根拠を明らかにしながら読み解き、それを適切に説明す	古典や現代の小説、詩歌、随筆などを的確に読み解くことを通して、社会や文化に対する考えを深め、より広い視野をもってものごとを判断する力を伸ばす。	作品に描かれる出来事や人物等を通して、現代に生きる自分自身や社会の有り様を見つめなおそうとする姿勢が見られる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
前期	A 単元 古典読解の基礎を理解する 【知識及び技能】 古文における単語の分類や、歴史的仮名遣いなどを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典を学び言語に対する考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言語と文化の関わりに興味を持つ。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 古文を適切に読むことができる。 【思考・判断・表現】 古文作品の世界を深く読み取ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 言語に対して興味をもって学習に取り組んでいる。	○	○	○	2
	B 単元 文学を味わう 【知識及び技能】 文学的な教養を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 豊かな表現を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な文章表現に興味をもつ。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等		○	○	【知識・技能】 文学作品に関する知見が深められている。 【思考・判断・表現】 深い考えを、豊かに表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な文章作品を読もうとしている。	○	○	○	2
	C 単元 漢文の訓読 【知識及び技能】 漢文を適切に訓読する。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文を通して、社会に対する知見を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文が日本語に与えた影響を適切に理解しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等		○	○	【知識・技能】 漢文を適切に訓読できる。 【思考・判断・表現】 漢文の内容を的確に理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 漢文と文化の結びつきを適切に理解している。	○	○	○	2
	D 単元 詩歌 【知識及び技能】 詩歌作品における技法などを適切に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の世界をより深く理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 豊かな言語文化を身に付ける。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等		○	○	○	○	○	○	2
	定期考査						○	○		1
前期	A 単元 古文の読みを深める 【知識及び技能】 用言の活用や、文法的意味合いを適切に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 古文の的確な読みから考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 古文の世界における人間観などを理解する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等		○	○	【知識・技能】 適切な文法理解を基に古文を適切に読むことができる。 【思考・判断・表現】 古文作品の世界を深く読み取ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 古文に対して興味をもって学習に取り組んでいる。	○	○	○	2
	B 単元 漢文の読みを深める 【知識及び技能】 漢文を適切な文法理解を基に読解する。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文を通して、考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文と現代の社会を関連付けながら学ぶ。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等		○	○	【知識・技能】 適切に漢文を読解することができる。 【思考・判断・表現】 漢文を通して、社会に対する考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 漢文と現代社会を結びつけながら読み解いている。	○	○	○	2
	C 単元 文学作品を深く読む。 【知識及び技能】 文学作品を根拠を基に適切に読み解ける。 【思考力、判断力、表現力等】 文学を通して、自身に対する考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 文学作品を様々な視点から読み解こうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等		○	○	【知識・技能】 文学作品を根拠を基に適切に読解している。 【思考・判断・表現】 文学を通してより考えを深められている。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な観点から文学作品を読んでいる。	○	○	○	2
	D 単元 言語と文化の関わりを学ぶ 【知識及び技能】 様々な古今の文章を読み解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 言語を適切に使って、より深い考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 言語と文化の関わりから、社会の在り方を考える。 定期考査	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等		○		【知識・技能】 様々な文章を適切に読み解くことができている。 【思考・判断・表現】 適切な表現を用いて、考えを深められている。 【主体的に学習に取り組む態度】 言語を学ぶことを通して、社会や自身の生き方などに考えを巡らせている。	○	○	○	2
	定期考査						○	○		1

【知識及び技能】地理や歴史に関わる諸事象の知識や諸概念について理解する。

【思考力、判断力、表現力等】知識をもとに社会について考察を深め、自分なりによりよい社会のあり方について考え、それを表現する。

【学びに向かう力、人間性等】得た知識や他者の意見、歴史をふまえ、社会で起こる諸事象の価値判断ができるよう、公民的資質を涵養する

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理にかかわる諸事象について理解し、人間と自然の営みについて地理的な見方・考え方に通じる知識を身につける。また、1人1台端末を活用し、地図や地理情報システムを活用するための技能を身につける。	知識、技能をもとに、地理的な見方・考え方をはたらかせ、地理的な課題や社会の諸課題について多面的・多角的に考察し、他者の考えをふまえ、自己の考えを形成する。	社会の担い手として、社会で起こる事象に関心を持ち、それらの良し悪しについて自ら判断できるようにするための公民的資質を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	A 単元 地図でとらえる現代世界 【知識及び技能】 時差の計算や地図の種類、読み方、地理情報システム、グローバル化とは何か等の地理に関わる諸概念、諸事象について、先哲の思想について理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 知識をもとに、学習した概念や事象が私たちの生活にどのような影響を及ぼしているのかという観点から考察を深め、自己の考えを形成し表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の意見を聞く場面を多数設け、自らの考えを相対化しながら、個々の公民的資質を涵養する。	・指導事項 時差について 地図について GISについて グローバル化について ・教材 教科書、資料集、レポート、ワークシート等 ・1人1台端末の活用 等 レポート提出、添削等で用いる。 また、GIS等を用いた考察の際に、生徒が自ら操作する。	【知識・技能】 地理に関わる諸概念、諸事象について正確な理解を得られている。 【思考・判断・表現】 スクーリングの際に設ける今日の問いについて自分なりに考察し、他者の意見をふまえそれを精緻化し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 レポートや振り返りなどの学習事項や活動に積極的に参加し、よい社会のあり方について主体的に考えることができている。また、発展的な内容について自ら考え、思索を深めている。	○	○	○	4
	B 単元 国際理解と国際協力Ⅰ 【知識及び技能】 大地形、小地形、気候区分等の地理に関わる諸知識について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 地形や気候がどのように生活にかかわってきたのかという観点から考察を深め、自己の考えを形成し表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の意見を聞く場面を多数設け、自らの考えを相対化しながら、個々の公民的資質を涵養する。	・指導事項 大地形と人々の生活 河川地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活 気候区分と雨温図 ・教材 教科書、資料集、レポート、ワークシート等 ・1人1台端末の活用 等 レポート提出、添削等で用いる。 また、GIS等を用いた考察の際に、生徒が自ら操作する。	【知識・技能】 地理に関わる諸概念、諸事象について正確な理解を得られている。 【思考・判断・表現】 スクーリングの際に設ける今日の問いについて自分なりに考察し、他者の意見をふまえそれを精緻化し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 レポートや振り返りなどの学習事項や活動に積極的に参加し、よい社会のあり方について主体的に考えることができている。また、発展的な内容について自ら考え、思索を深めている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
前期	C 単元 国際理解と国際協力Ⅱ 【知識及び技能】 自然環境、宗教、歴史が地域にどのような影響を与えているのか、いくつかの地域を取り上げ理解させる。また、地球環境問題や人口問題などのグローバルな課題についてその論点を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の諸問題について、地理的な見方・考え方をはたらかせ、考察を深め、自己の考えを形成し表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の意見を聞く場面を多数設け、自らの考えを相対化しながら、個々の公民的資質を涵養する。	・指導事項 自然環境と人々の暮らしの追究 宗教と人々の暮らしの追究 歴史と人々の暮らしの追究 地球環境問題 人口問題 ・教材 教科書、資料集、レポート、ワークシート等 ・1人1台端末の活用 等 レポート提出、添削等で用いる。 また、GIS等を用いた考察の際に、生徒が自ら操作する。	【知識・技能】 地理に関わる諸概念、諸事象について正確な理解を得られている。 【思考・判断・表現】 スクーリングの際に設ける今日の問いについて自分なりに考察し、他者の意見をふまえそれを精緻化し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 レポートや振り返りなどの学習事項や活動に積極的に参加し、よい社会のあり方について主体的に考えることができている。また、発展的な内容について自ら考え、思索を深めている。	○	○	○	6
	D 単元 自然環境と防災 【知識及び技能】 日本の災害の特徴や、都市型災害の特徴などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 災害について理解を深め、防災や減災について私たちの暮らしにひきつけて考察し、自己の考えを形成し表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の意見を聞く場面を多数設け、自らの考えを相対化しながら、個々の公民的資質を涵養する。	・指導事項 日本の自然災害と防災 東京の自然災害と防災 ・教材 教科書、資料集、レポート、ワークシート等 ・1人1台端末の活用 等 レポート提出、添削等で用いる。 また、GIS等を用いた考察の際に、生徒が自ら操作する。	【知識・技能】 地理に関わる諸概念、諸事象について正確な理解を得られている。 【思考・判断・表現】 スクーリングの際に設ける今日の問いについて自分なりに考察し、他者の意見をふまえそれを精緻化し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 レポートや振り返りなどの学習事項や活動に積極的に参加し、よい社会のあり方について主体的に考えることができている。また、発展的な内容について自ら考え、思索を深めている。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
合計							
18							

高等学校 令和5年度

教科 地理・歴史 科目 歴史総合

教科： 地理・歴史 科目： 歴史総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 無 学年 1組～ 9組 A組

教科担当者：

使用教科書： 東京書籍 新選歴史総合

教科 地理・歴史 の目標： 世界の中の日本の位置づけを考えるとともに人類社会が直面している課題を解決に導く。

【知識及び技能】 世界史と日本史を融合させながら近現代を学ぶ

【思考力、判断力、表現力等】 世界の中の日本の位置づけについて考える

【学びに向かう力、人間性等】 歴史を通して現代的諸課題を考える力を養う

科目 歴史総合 の目標： 現在に近い時期の歴史への理解を深める

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
身のまわりの品々の価値や意味をよく理解し、我々が出会うさまざまな困難の原因や意味を考える。	数多くの問いかけに対し、資料や教科書の本文を駆使して問いへの答えを自ら導き出す力を養う。	過去の人々の行動や出来事との関係を踏まえて、現代的な諸課題について考察し、表現していく。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
前期	A 単元 18世紀の東アジア 【知識及び技能】 18世紀の東アジア諸国の理解 【思考力、判断力、表現力等】 東アジアを多角的、多面的に考察する 【学びに向かう力、人間性等】 東アジアを諸資料から読み取っていく	・指導事項 18世紀の東アジア ・教材 教科書・学習書 授業プリント ・一人1台端末の活用等 デジタル史料の提示	【知識・技能】 東アジアの国名や国々について理解できたか 【思考・判断・表現】 東アジアが欧米に与えた影響に着目したか 【主体的に学習に取り組む態度】 東アジア各地域間の関係を理解できたか	○	○	○	2
	B 単元 18世紀のヨーロッパとアジア 【知識及び技能】 18世紀のヨーロッパ諸国の理解 【思考力、判断力、表現力等】 欧米を多角的、多面的に考察する 【学びに向かう力、人間性等】 欧米を諸資料から読み取っていく	・指導事項 18世紀のヨーロッパ ・教材 教科書・学習書 授業プリント ・一人1台端末の活用等 デジタル史料の提示	【知識・技能】 ヨーロッパの国名や国々について理解できたか 【思考・判断・表現】 ヨーロッパがアジアに与えた影響に着目したか 【主体的に学習に取り組む態度】 ヨーロッパ各地域間の関係を理解できたか	○	○	○	2
	C 単元 国民国家と明治維新 【知識及び技能】 国民国家形成の背景や影響に着目する 【思考力、判断力、表現力等】 国民国家を多角的、多面的に考察する 【学びに向かう力、人間性等】 市民革命がなぜ起こったか理解する	・指導事項 19世紀の世界 ・教材 教科書・学習書 授業プリント ・一人1台端末の活用等 デジタル史料の提示	【知識・技能】 国民国家の特徴を理解できたか 【思考・判断・表現】 19世紀の欧米諸国では、どのような国家形態が模索されたか 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新が日本社会をどのように変えたのか考察できたか	○	○	○	2
	D 単元 帝国主義諸国競合と国際関係 【知識及び技能】 帝国主義とは何かを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義がおこった原因を考える 【学びに向かう力、人間性等】 日清戦争が他国に与えた影響を考察する	・指導事項 帝国主義の世界 ・教材 教科書・学習書 授業プリント ・一人1台端末の活用等 デジタル史料の提示	【知識・技能】 列強の帝国主義政策を理解できたか 【思考・判断・表現】 帝国主義国間の対立、協力関係を考察する 【主体的に学習に取り組む態度】 植民地の人々が受けた支配についても理解する	○	○	○	2
定期考査			○	○		1	
後期	A 単元 第一次世界大戦と大衆社会 【知識及び技能】 第一次世界大戦の推移を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 総力戦体制とはどのようなものであったかを知る 【学びに向かう力、人間性等】 大衆社会とは何かを知る	・指導事項 第一次世界大戦 ・教材 教科書・学習書 授業プリント ・一人1台端末の活用等 デジタル史料の提示	【知識・技能】 各国の総力戦体制を理解できたか 【思考・判断・表現】 戦後の国際協調体制について考察できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 第一次世界大戦に関わった国々への関心が高まったか	○	○	○	2
	B 単元 第二次世界大戦の勃発 【知識及び技能】 第二次世界大戦の推移を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦の性格と惨禍を理解できたか 【学びに向かう力、人間性等】 マスメディアの発達にも触れる	・指導事項 第二次世界大戦 ・教材 教科書・学習書 授業プリント ・一人1台端末の活用等 デジタル史料の提示	【知識・技能】 第二次世界大戦後の国際秩序を理解できたか 【思考・判断・表現】 日本の国際社会復帰について考察できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦に関わった国々への関心が高まったか	○	○	○	2
	C 単元 冷戦と世界経済について 【知識及び技能】 冷戦下に再編されたアジア諸地域の動きを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦下における国際関係の把握 【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化とは何かを考える	・指導事項 冷戦下の世界 ・教材 教科書・学習書 授業プリント ・一人1台端末の活用等 デジタル史料の提示	【知識・技能】 冷戦の拡大と第三勢力の台頭を理解できたか 【思考・判断・表現】 冷戦下の核開発競争について考察できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 アジア・アフリカの脱植民地化について理解できたか	○	○	○	2
	D 単元 世界秩序の変容 【知識及び技能】 石油危機と経済の自由化について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 万国博覧会開催にも触れる 【学びに向かう力、人間性等】 地域統合についても考える	・指導事項 現代の世界 ・教材 教科書・学習書 授業プリント ・一人1台端末の活用等 デジタル史料の提示	【知識・技能】 地域連携の拡大について理解できたか 【思考・判断・表現】 人権の歴史についての理解が深まったか 【主体的に学習に取り組む態度】 現代的な諸課題は何かを考えることが出来たか	○	○	○	2
定期考査			○	○		1	
						合計	
						18	

年間授業計画様式

東京都立新宿山吹高等学校 通信制課程 令和5年度 教科：地理歴史 科目：世界史B 年間授業計画

教科：地理歴史 科目：世界史B 単位数：4単位
 対象学年組：無学年

使用教科書：高校世界史B改訂版（山川出版社）
 使用教材：明解世界史図説エスカリエ（帝国書院）・授業プリント 他

	指導内容	世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月				
5月	古代オリエント	メソポタミアとエジプトの灌漑農業を基盤とした古代文明に関心をもたせる。	レポートの内容、および提出期限の厳守、またスクーリングへの取り組みなどを総合的に評価する。	1
	古代ギリシア、古代ローマ	エーゲ文明とポリスを中心とするギリシア文明の意義を探究するとともに、ローマ世界の特色についても学習する。		2
	古代インド	バラモン教やヴァルナ制度、仏教の特徴についても理解を深める。		1
	黄河文明	黄河・長江の新石器文明から殷・周の社会や文化の特質を追究していく。		1
6月	漢帝国	漢帝国の社会や文化の特質を追究していく。	レポートの内容、および提出期限の厳守、またスクーリングへの取り組みなどを総合的に評価する。	1
	魏晋南北朝～唐	隋唐帝国の国家制度や文化、日本を含む東アジア世界の国家体制の整備やその動向を理解する。		2
	イスラーム世界	ムハンマドの活動やイスラーム教の特質についての理解を深める。		1
	ゲルマン民族の侵入	フランク王国とローマ教皇の提携の意義、ノルマン人などの諸民族侵入の影響について関心をもたせる。		1
	中世後期のヨーロッパ	西ヨーロッパ封建社会の変容、中世都市と商業の発展について理解する。		1
7月	宋～元	宋の統治体制とモンゴル帝国の内陸アジア支配について考察を深める。	レポートの内容、および提出期限の厳守、またスクーリングへの取り組みなどを総合的に評価する。	1
	明～清	明朝の経済的繁栄と清朝が形成した広大な支配領域での統治について理解する。		1
	ルネサンス、宗教改革	ルネサンスがもたらした芸術・思想・科学の変革の内容を理解する。また、ドイツから始まった宗教改革の理念とその拡大、カトリック教会の対応について		2
8月				
9月	前期のまとめ	これまで学んできた世界の歴史の大きな枠組みを把握させるとともに文化の多様性についても理解する。	レポートの内容、および提出期限の厳守、またスクーリングへの取り組みなどを総合的に評価する。	1

	指導内容	世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月	産業革命・アメリカ独立革命	イギリス産業革命の他国への広まりとアメリカ合衆国憲法による共和政について理解させる。	レポートの内容、および提出期限の厳守、またスクーリングへの取り組みなどを総合的に評価する。	1
	フランス革命とナポレオン	ナポレオンが統領政府を建て、事実上の独裁権を握り、フランス革命が終了していく流れを把握する。		1
	ウィーン体制、イタリア・ドイツの統一	ウィーン体制が崩壊し、列強の国内政策重視の状況がイタリア・ドイツ統一実現の背景となることを理解させる。		2
	清朝の動揺とアヘン戦争	イギリスによる三角貿易によって、清朝は銀の流出に苦しみ、アヘン戦争が勃発することに注目させる。		1
11月	帝国主義から第一次世界大戦へ	第一次世界大戦勃発前、バルカン半島では帝国主義列強の政策や民族間の対立が錯綜していたことを理解させる。	レポートの内容、および提出期限の厳守、またスクーリングへの取り組みなどを総合的に評価する。	2
	ロシア革命と戦間期の欧米	第一次世界大戦後の世界の基調は国際協調と軍縮にあつ点を理解させる。		2
	ファシズムの台頭を第二次世界大戦	太平洋戦争の開始により第二次世界大戦が地球規模となってしまったことを理解させる。		2
12月	冷戦と雪どけ	国際平和機関が作られたにもかかわらず、なぜ、冷戦と呼ばれる東西対立が生まれたのかを考察する。	レポートの内容、および提出期限の厳守、またスクーリングへの取り組みなどを総合的に評価する。	1
	戦後の第三世界	アジア・アフリカの新興独立国が非同盟中立を掲げ、第三勢力として結集したことを理解する。		1
	石油危機と世界経済の再編	途上国の工業化の開始、先進国側での地球環境問題の顕在化などに視点を向けさせる。		2
1月	後期のまとめ	これまで学んできた世界の歴史の大きな枠組みを把握させるとともに文化の多様性についても理解する。	レポートの内容、および提出期限の厳守、またスクーリングへの取り組みなどを総合的に評価する。	1
2月				
3月				

年間授業計画様式

東京都立新宿山吹高等学校 通信制課程 令和5年度 教科 地理歴史 科目 日本史B 年間授業計画

教科： 地理歴史 科目： 日本史B 単位数： 4単位

対象学年組： (1組～9組、A組)

使用教科書： (新選 日本史B (東京書籍))

使用教材： (ワークシート、ICTパソコンなど)

	指導内容	科目 日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月				
5月	○原始社会の生活と文化	旧石器文化、縄文文化の違いをふまえ、当時の暮らしや文化について知るとともに、当時の人々の暮らしについて考察する。	①スクーリングでの取組②レポートの内容③定期考査の得点を主として総合的に評価する。	1
	○農耕社会の形成と大陸文化の摂取	弥生文化の特徴について知るとともに、大陸から伝わった文化が人々の暮らしに与えた影響について考察する。		1
	○飛鳥の朝廷、律令国家の成立	古墳時代、飛鳥時代の出来事について理解を深めるとともに、中央集権化の過程とそれを達成した要因について考察する。		1
	○平城京と天平文化	奈良時代の政治史について理解を深めるとともに、国家と宗教の関係について考察を深める。		1
	○平安遷都、摂関政治	平安時代の政治史について理解を深めるとともに、政治の権力者の移り変わりとなつた要因について考察する。		1
	○院政と荘園、平氏政権	平安時代の土地制度史や政治史について理解を深めるとともに、武士の起こりとその要因などについて考察を深める。		1
6月	○鎌倉幕府の誕生、執権による政治	鎌倉時代の政治史について理解を深めるとともに、当時の人々の暮らしや交流について考察を深める。	①スクーリングでの取組②レポートの内容③定期考査の得点を主として総合的に評価する。	1
	○元寇と社会の変貌	鎌倉時代後期の政治史について理解を深めるとともに、御家人社会の変貌とその要因について考察する。		1
	○鎌倉仏教と文化	日本仏教史について理解を深めるとともに、それが人々に与えた影響について考察する。		1
	○室町幕府の成立	鎌倉幕府の滅亡とその後の政治について、理解を深めるとともに、時代の特徴について考察を深める。		1

	指導内容	科目 日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	○倭寇と東アジアの交易	東アジアや沖縄、北方の歴史について理解を深めるとともに、それらの関係について考察を深める。	①スクーリングでの取組②レポートの内容③定期考査の得点を主として総合的に評価する。	1
	○下剋上の社会と戦国大名	いわゆる戦国時代の歴史について理解を深めるとともに、当時の都市や人々の暮らしについて考察を深める。		1
	○織豊政権による全国統一	織豊政権による全国統一の過程について理解を深めるとともに、彼らの政策の意図や影響について考察を深める。		1
	○幕藩体制の成立	江戸幕府の成立とその支配について理解を深めるとともに、幕藩体制の成り立ちについて考察を深める。		1
	○キリスト教禁止と鎖国	日本とキリスト教の関係等について理解を深めるとともに、宗教の与える影響等について考察を深める。		1
8 月				
9 月	定期考査			1
10 月	○近世社会の発達と町人文化	当時の社会や文化について理解を深めるとともに、人々の暮らしや状況について考察を深める。	①スクーリングでの取組②レポートの内容③定期考査の得点を主として総合的に評価する。	1
	○幕藩体制の動揺と政治改革	江戸時代の政治改革等について理解を深めるとともに、その背景と影響について考察する。		1
	○幕藩体制の危機	江戸時代の対外史について理解を深めるとともに、当時の人々の暮らしや文化について考察する。		1
	○開国、幕府の滅亡	開国と幕府の滅亡の家庭について理解するとともに、近代国家の形成について考察を深める。		1
	○統一国家の成立	新政府の樹立と諸制度について理解を深めるとともに、どのような国づくりが目指されたのかについて考察を深める。		1
	○立憲政治の形成	立憲政治の形成の過程について理解を深めるとともに、その背景と影響について考察を深める。		1
11 日	○日清戦争と東アジアの変容	日清戦争の背景とその経過について理解を深めるとともに、それが人々やのちの歴史に与えた影響について考察する。	①スクーリングでの取組②レポートの内容③定期考査の得点を主として総合的に評価する。	1
	○日露戦争	日露戦争の背景とその経過について理解を深めるとともに、それが人々やのちの歴史に与えた影響について考察する。		1

	指導内容	科目 日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7	○第一次世界大戦と日本	第一次世界大戦の際の日本の経過とその背景について理解を深めるとともに、その後の国際政治体制について考察する。		1
	○日中戦争と国内体制の改編	日中戦争から太平洋戦争にかけての歴史について理解を深めるとともに、戦争へと進んでいってしまった当時の社会について考察する。		1
12 月	○太平洋戦争	太平洋戦争の背景と経過について理解を深めるとともに、終結とその決断等について考察する。	①スクーリングでの取組②レポートの内容③定期考査の得点を主として総合的に評価する。	1
	○占領と国内改革	戦争の後の諸改革等について理解を深めるとともに、それが今日の社会に与える影響等について考察する。		1
	○国際社会への復帰と高度経済成長	戦後の講和条約と対外史等について理解を深めるとともに、それが今日の社会に与える影響等について考察する。		1
	○石油ショックと低成長の時代	高度経済成長後の歴史について理解を深めるとともに、それが今日の社会に与える影響等について考察する。		1
	○新しい国際秩序と日本の課題	現代にかけての歴史や他国との関係について理解を深めるとともに、それが今日の社会に与える影響等について考察する。		1
1 月	定期考査			1
2 月				
3 月				

新宿山吹 高等学校 令和5年度

教科 公民 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共

単位数： 2 単位

対象学年組： 1組～ 9組、A組

教科担当者： 中村 祥太

使用教科書： (公共 (東京書籍))

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】 社会の担い手として、様々な事象について判断をするために必要な諸原理等について理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】 よい生き方やよい社会について考察を深め、他者との対話的活動を通してそれらの表現を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 自分にとってよい生き方やよい社会とは何か、得た知識や他者の意見、先哲の考え等をふまえ自ら考えられる

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会で起こる事象について自らよい悪いの判断を下せるようになるための基礎となる諸原理等の知識や、資料の読み取り等の技能を身につける。	自分にとってよい生き方、よい社会とは何かという観点から、学んだ知識や共に学習する者同士の意見交換、先哲の考え、過去の経験等をふまえ、考察を深めるとともに、それをまた他者に伝えることができるようになる。	社会の担い手として、授業やレポートにとどまらず社会で起こる事象に関心を持ち、それらの良し悪しについて自ら判断できるようになるための公民的資質を育成する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
前期	A 単元 公共的な空間をつくる私たち 公共的な空間における人間としての在り方生き方 【知識及び技能】 青年期の特質と課題や、功利主義、徳倫理、ミルの思想とパターナリズムなどの考え方について、先哲の思想をについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 知識をもとにし、「自由」について考えさせることを通して、現代社会の諸課題や自己のライフプラン等に照らし合わせ、よい社会やよい人生について考察、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートや1回のスクーリングのみで終わらないよう、他者の意見を聞く場面を多数設け、自らの考えを相対化しながら、個々の公	・指導事項 青年期の特質と課題 パターナリズムと他者危害 功利主義について ・教材 レポート、ワークシート、ICT機器等 ・一人1台端末の活用 等 レポート提出、添削等で用いる。	【知識・技能】 先哲の思想や、諸原理について正確な理解を得られている。 【思考・判断・表現】 スクーリングの際に設ける今日の問いについて自分なりに考察し、他者の意見をふまえそれを精緻化し、表現することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 レポートや振り返りなどの学習事項や活動に積極的に参加し、これからの人生や社会について主体的に考えることができている。	○	○	○	3
	B 単元 公共的な空間における基本的原理 【知識及び技能】 民主主義という漠然とした語句について、先哲の思想をふまえ具体的に理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 他者の意見をふまえ、改めてこれまでに学んできた用語について相対的に考えさせ、よい社会やよい人生について考察させ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートや1回のスクーリングのみで終わらないよう、他者の意見を聞く場面を多数設け、自らの考えを相対化しながら、個々の公民的資質を涵養する。	・指導事項 多数決について 民主主義とは ・教材 レポート、ワークシート、ICT機器等 ・一人1台端末の活用 等 レポート提出、添削等で用いる。	【知識・技能】 先哲の思想や、諸原理について正確な理解を得られている。 【思考・判断・表現】 スクーリングの際に設ける今日の問いについて自分なりに考察し、他者の意見をふまえそれを精緻化し、表現することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 レポートや振り返りなどの学習事項や活動に積極的に参加し、これからの人生や社会について主体的に考えることができている。	○	○	○	2
	C 単元 民主政治と私たち 【知識及び技能】 選挙制度について具体例をふまえて知識を深め、それぞれの選挙制度の特徴についても理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 知識をもとにし、よい社会やよい人生について考察させ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートや1回のスクーリングのみで終わらないよう、他者の意見を聞く場面を多数設け、自らの考えを相対化しながら、個々の公民的資質を涵養する。	・指導事項 選挙制度について ・教材 レポート、ワークシート、ICT機器等 ・一人1台端末の活用 等 レポート提出、添削等で用いる。	【知識・技能】 先哲の思想や、諸原理について正確な理解を得られている。 【思考・判断・表現】 スクーリングの際に設ける今日の問いについて自分なりに考察し、他者の意見をふまえそれを精緻化し、表現することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 レポートや振り返りなどの学習事項や活動に積極的に参加し、これからの人生や社会について主体的に考えることができている。	○	○	○	1
	D 単元 法の働きと私たち 【知識及び技能】 司法制度や市民との関わりについて、これまでの歴史をふまえ、理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 知識をもとにし、現代社会の諸課題等について課題を出し、よい社会やよい人生について考察させ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートや1回のスクーリングのみで終わらないよう、他者の意見を聞く場面を多数設け、自らの考えを相対化しながら、個々の公民的資質を涵養する。	・指導事項 立憲主義について 司法について ・教材 レポート、ワークシート、ICT機器等 ・一人1台端末の活用 等 レポート提出、添削等で用いる。	【知識・技能】 先哲の思想や、諸原理について正確な理解を得られている。 【思考・判断・表現】 スクーリングの際に設ける今日の問いについて自分なりに考察し、他者の意見をふまえそれを精緻化し、表現することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 レポートや振り返りなどの学習事項や活動に積極的に参加し、これからの人生や社会について主体的に考えることができている。	○	○	○	2
定期考査			○	○		1	

後期	<p>A 単元 経済社会で生きる私たち</p> <p>【知識及び技能】 経済に関する諸原理や、金融と資産運用、社会保障制度等について、先哲の思想をふまえ理解を深めさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸原理や諸制度について、これまでの経験等をもとに考察させ、よい社会やよい人生について表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートや1回のスクーリングのみで終わらないよう、他者の意見を聞く場面を多数設け、自らの考えを相対化しながら、個々の公民的資質を涵養する。</p>	<p>・指導事項 市場経済のしくみ 金融と資産運用 社会保障について</p> <p>・教材 レポート、ワークシート、ICT機器等</p> <p>・一人1台端末の活用 等 レポート提出、添削等で用いる。</p>	<p>【知識・技能】 先哲の思想や、諸原理について正確な理解を得られている。</p> <p>【思考・判断・表現】 スクーリングの際に設ける今日の問いについて自分なりに考察し、他者の意見をふまえそれを精緻化し、表現することができている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 レポートや振り返りなどの学習事項や活動に積極的に参加し、これからの人生や社会について主体的に考えることができている。</p>	○	○	○	3
	<p>B 単元 私たちの職業生活</p> <p>【知識及び技能】 労働の意義や労働者の権利等について、先哲の思想をふまえ理解を深めさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自らの職業選択についての考察を深めさせ、よい社会やよい人生について考え、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートや1回のスクーリングのみで終わらないよう、他者の意見を聞く場面を多数設け、自らの考えを相対化しながら、個々の公民的資質を涵養する。</p>	<p>・指導事項 労働について 働き方改革について</p> <p>・教材 レポート、ワークシート、ICT機器等</p> <p>・一人1台端末の活用 等 レポート提出、添削等で用いる。</p>	<p>【知識・技能】 先哲の思想や、諸原理について正確な理解を得られている。</p> <p>【思考・判断・表現】 スクーリングの際に設ける今日の問いについて自分なりに考察し、他者の意見をふまえそれを精緻化し、表現することができている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 レポートや振り返りなどの学習事項や活動に積極的に参加し、これからの人生や社会について主体的に考えることができている。</p>	○	○	○	2
	<p>C 単元 国際社会のなかで生きる私たち</p> <p>【知識及び技能】 国際社会の成り立ちや歴史、グローバル化の意義と課題、現代の世界情勢について理解を深めさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 知識をもとにし、現代社会の諸課題についての課題を出し、よい社会やよい人生について考察させ、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートや1回のスクーリングのみで終わらないよう、他者の意見を聞く場面を多数設け、自らの考えを相対化しながら、個々の公民的資質を涵養する。</p>	<p>・指導事項 貿易について 国際平和への課題について グローバル化と移民</p> <p>・教材 レポート、ワークシート、ICT機器等</p> <p>・一人1台端末の活用 等 レポート提出、添削等で用いる。</p>	<p>【知識・技能】 先哲の思想や、諸原理について正確な理解を得られている。</p> <p>【思考・判断・表現】 スクーリングの際に設ける今日の問いについて自分なりに考察し、他者の意見をふまえそれを精緻化し、表現することができている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 レポートや振り返りなどの学習事項や活動に積極的に参加し、これからの人生や社会について主体的に考えることができている。</p>	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1

合計

使用教科書：（新数学 I 東京書籍）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】原理・法則・定理・公式などを理解し適用することで、課題を解決できる。

【思考力、判断力、表現力等】課題解決に必要な定理・公式を選択・判断し、答えを導く過程を正しく表現・処理することができる。

【学びに向かう力、人間性等】eレポートの提出基準日を守ること、まなぶき掲載の学習資料を積極的に活用することができる。

科目 数学

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的な原理・法則・定理などを理解し、それらを用いて、課題を解決することができる。	課題解決に必要な法則・定理・公式などを適切に選択し、それらを活用して、答えを導く過程を数学的に正しく表現・処理することができる。	eレポートの提出期限を守ること、まなぶきの資料を活用すること、わからないことを質問することなど学びに向かう前向きな姿勢を育てることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	A 単元：数と式 【知識及び技能】 乗法公式・因数分解、根号を含む式の計算、数の分類、分数と小数、方程式と不等式を理解し、それらを用いて計算できる。 【思考力、判断力、表現力等】 公式を適切に選択し活用して因数分解をしたり、分配法則や乗法公式を活用して、式の計算過程を表現・処理できる。 【学びに向かう力、人間性等】 eレポートの提出基準日を守ること、まなぶきの資料を活用することができる。	・指導事項：文字と式・実数・方程式と不等式 ・教材：教科書 スクーリングプリント ・一人1台端末の活用によるeレポートの取り組み、まなぶきに掲載する資料（スクーリングプリント・動画等）の活用を促す。	【知識・技能】 積や商の表し方、多項式と単項式、乗法公式、因数分解、平方根、根号を含む式の計算、分母の有理化、数の分類、分数と小数、1次方程式、不等式とその性質、2次方程式とその解き方、解の公式などを理解し、それらを求めることができる。 【思考・判断・表現】 法則や公式を課題に応じて適切に選択し、その過程を正しく表現・処理することができる。課題解決ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 eレポートの提出期限を守ること、まなぶきの資料を活用することができる。	○	○	○	7
	B 単元：2次関数 【知識及び技能】 2次関数とそのグラフの性質、2次関数の値の変化を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の頂点の座標、y軸との交点の座標、軸の方程式などを正しく判断し、グラフを描くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 eレポートの提出基準日を守ること、まなぶきの資料を活用することができる。	・指導事項： 2次関数とそのグラフ 2次関数の値の変化 ・教材：教科書、 スクーリングプリント ・一人1台端末の活用によるeレポートの取り組み、まなぶきに掲載する資料（スクーリングプリント・動画等）の活用を促す。	【知識・技能】 関数とその値、座標、1次関数とグラフ、放物線、軸と頂点、平行移動、2次関数の式の変形から2次関数のグラフの頂点の座標、軸の方程式、y軸との交点の座標などを理解し、それらを求めることができる。 【思考・判断・表現】 2次関数の式の変形からグラフの頂点の座標や軸の方程式、y軸との交点の座標を判断することができる。グラフを正しく表現し、描くことができる。グラフを描くことで、2次関数の最大値・最小値や、2次不等式を2次関数のグラフとの関係から判断・表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 eレポートの提出期限を守ること、まなぶきの資料を活用することができる。	○	○	○	5
	定期考査	数と式・2次関数とそのグラフ		○	○		1
後期	A 単元：三角比 【知識及び技能】 三角形の性質や三平方の定理、三角比の定義を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 三角比を利用して、身近な事象を考察・表現・処理することができる。三角比の性質や正弦定理、余弦定理などを選択・判断し、表現・処理することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 eレポートの提出基準日を守ること、まなぶきの資料を活用することができる。	・指導事項： 鋭角の三角比 三角比の応用 ・教材：教科書 スクーリングプリント ・一人1台端末の活用によるeレポートの取り組み、まなぶきに掲載する資料（スクーリングプリント・動画等）の活用を促す。	【知識・技能】 相似、三平方の定理、三角定規の3辺の比、三角比の定義、30°、45°、60°の三角比、三角比の表、三角比の相互関係、90°-Aの三角比などを理解し、それらを求めることができる。 【思考・判断・表現】 三角形の面積や正弦定理、余弦定理を用いてその過程を正しく表現・処理することができる。鈍角まで拡張した三角比を用いて、鋭角の三角比で成り立った様々な相互関係や定理と結び付けて、課題解決することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 eレポートの提出期限を守ること、まなぶきの資料を活用することができる。	○	○	○	6
	B 単元：データの分析 【知識及び技能】 データに基づく問題解決の進め方やデータの特徴の調べ方を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 度数分布表やヒストグラム、相対度数、代表値、分散と標準偏差、相関関係などから得られる事象を課題に合わせて、適切に判断し表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 eレポートの提出基準日を守ること、まなぶきの資料を活用することができる。	・指導事項：データの分析 ・教材：教科書 スクーリングプリント ・一人1台端末の活用によるeレポートの取り組み、まなぶきに掲載する資料（スクーリングプリント・動画等）の活用を促す。	【知識・技能】 データに基づいた問題解決の進め方やデータの特徴の調べ方、度数分布表とヒストグラム、相対度数、代表値、四分位数と箱ひげ図などを理解し、それらを求めることができる。 【思考・判断・表現】 分散と標準偏差、相関関係、相関係数、データに基づく考え方などを正しく表現・処理することができる。課題解決ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 eレポートの提出期限を守ること、まなぶきの資料を活用することができる。	○	○	○	3

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 理科 科目 科学と人間生活

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 1組～9組、A組

使用教科書：（数研出版 科学と人間生活）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、観察、実験などに関する技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然と人間生活との関わり及び、科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技術を身につけるようにする。	観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	単元 材料とその再利用 【知識及び技能】金属やプラスチックの種類、性質及び用途と資源の再利用について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】材料とその再利用について日常生活と関連付けて考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】レポートを期限内に積極的に取り組むことができる。スクーリングに意欲的に取り組む。	・指導事項 材料とその再利用 ・教材：スクーリング、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】金属やプラスチックの種類、性質及び用途と資源の再利用について理解した。 【思考・判断・表現】材料とその再利用について日常生活と関連付けて考え、レポートにて表現することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】レポートの提出期限、レポートの内容、スクーリングでの取り組み、実験に臨む態度	○	○	○	4
	単元 衣料と食品 【知識及び技能】身近な衣料材料の性質や用途、食品中の主な成分の性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】衣料、食品について日常生活と関連付けて考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】レポートを期限内に積極的に取り組むことができる。スクーリングに意欲的に取り組む。	・指導事項 医療と食品 ・教材：スクーリング、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】身近な衣料材料の性質や用途、食品中の主な成分の性質について理解した。 【思考力、判断力、表現力等】衣料、食品について日常生活と関連付けて考え、表現することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】レポートの提出期限、レポートの内容、スクーリングでの取り組み、実験に臨む態度	○	○	○	4
	単元 ヒトの生命現象 【知識及び技能】ヒトの生命現象を人間生活と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】ヒトの生命現象に関することを学び、日常生活と関連付けて考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】レポートを期限内に積極的に取り組むことができる。スクーリングに意欲的に取り組む。	・指導事項 ヒトの生命現象 ・教材：スクーリング、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】ヒトの生命現象を人間生活と関連付けて理解した。 【思考力、判断力、表現力等】ヒトの生命現象に関することを学び、日常生活と関連付けて考え、表現することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】レポートを期限内に積極的に取り組むことができる。スクーリングに意欲的に取り組んだ。	○	○	○	4
	単元 微生物とその利用 【知識及び技能】微生物の働きと日常生活への関係性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】微生物に関する観察実験を行い、日常生活と関連付けて考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】レポートを期限内に積極的に取り組むことができる。スクーリングに意欲的に取り組む。	・指導事項 微生物とその利用 ・教材：スクーリング、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】微生物の働きと日常生活への関係性を理解した。 【思考力、判断力、表現力等】微生物に関する観察実験を行い、日常生活と関連付けて考え、表現することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】レポートの提出期限、レポートの内容、スクーリングでの取り組み、実験に臨む態度	○	○	○	4
	定期考查	物質の科学、生命の科学	定期考查	○	○		1

後期	<p>単元 光の性質とその利用</p> <p>【知識及び技能】光を中心とした電磁波の性質とその利用について、理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】光の性質に関して日常生活と関連付けて考え、表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】レポートを期限内に積極的に取り組むことができる。スクーリングに意欲的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 光の性質とその利用</p> <p>・教材：スクーリング、レポート</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】光を中心とした電磁波の性質とその利用について、理解することができた。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】光の性質に関して日常生活と関連付けて考え、表現することができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】レポートの提出期限、レポートの内容、スクーリングでの取り組み、実験に臨む態度</p>	○	○	○	4
	<p>単元 熱の性質とその利用</p> <p>【知識及び技能】熱に関する観察、実験などを行い、光を中心とした電磁波の性質とその利用について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】熱の性質、エネルギーの変換と保存及び有効利用について日常生活と関連付けて考え、表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】レポートを期限内に積極的に取り組むことができる。スクーリングに意欲的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 熱の性質とその利用</p> <p>・教材：スクーリング、レポート</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】熱に関する観察、実験などを行い、光を中心とした電磁波の性質とその利用について理解した。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】熱の性質、エネルギーの変換と保存及び有効利用について日常生活と関連付けて考え、表現することができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】レポートの提出期限、レポートの内容、スクーリングでの取り組み、実験に臨む態度</p>	○	○	○	4
	<p>単元 太陽と地球</p> <p>【知識及び技能】太陽などの身近にみられる天体の運動や太陽の放射エネルギーについて理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】天体に関する観察、実験などを行い、日常生活と関連付けて考え、表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】レポートを期限内に積極的に取り組むことができる。スクーリングに意欲的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 太陽と地球</p> <p>・教材：スクーリング、レポート</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】太陽などの身近にみられる天体の運動や太陽の放射エネルギーについて理解することができた。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】天体に関する観察、実験などを行い、日常生活と関連付けて考え、表現することができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】レポートを期限内に積極的に取り組むことができる。スクーリングに意欲的に取り組む。</p>	○	○	○	4
	<p>単元 自然景観と自然災害</p> <p>【知識及び技能】身近な自然景観の成り立ちと自然災害について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】自然景観と自然災害について日常生活と関連付けて考え、表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】レポートを期限内に積極的に取り組むことができる。スクーリングに意欲的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 自然景観と自然災害</p> <p>・教材：スクーリング、レポート</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】身近な自然景観の成り立ちと自然災害について理解した。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】自然景観と自然災害について日常生活と関連付けて考え、表現することができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】スクーリングでの取り組み、実験に臨む態度</p>	○	○	○	4
	定期考査	光や熱の科学、宇宙や地球の科学	定期考査	○	○		1
							合計
							34

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 1組～9組、A組

使用教科書：（東京書籍 新編生物基礎）

- 教科 理科 の目標：
- 【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、観察、実験などに関する技能を身につける。
 - 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。	観察、実験などを行い、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	単元 生物の共通性と多様性 【知識及び技能】生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 【思考力、判断力、表現力】生物の共通性と多様性について問題を見だし、科学的に探究している。 【学びに向かう力、人間性等】生物の共通性と多様性に関する事物・現象に進んで関わっている。	・指導事項 生物の共通性と多様性 ・教材：スクーリング、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 【思考力、判断力、表現力】生物の共通性と多様性について問題を見だし、科学的に探究した。 【学びに向かう力、人間性等】生物の共通性と多様性に関する事物・現象に進んで関わった。 【主体的に学習に取り組む態度】スクーリングでの取り組み、実験に臨む態度	○	○	○	4
	単元 生体とATP、酵素 【知識及び技能】生命活動にエネルギーが必要であることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】生物とエネルギーに関する資料に基づいて、科学的に考え、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】レポートを期限内に積極的に取り組むことができる。スクーリングに意欲的に取り組む。	・指導事項 生体とATP、酵素 ・教材：スクーリング、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】生命活動にエネルギーが必要であることを理解させた。 【思考、判断、表現】生物とエネルギーに関する資料に基づいて、科学的に考え、表現した。 【主体的に学習に取り組む態度】スクーリングでの取り組み、実験に臨む態度	○	○	○	4
	単元 遺伝情報とDNA 【知識及び技能】遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を見出して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】塩基の相補性とDNAの複製を関連付けて理解し、日常生活と関連付けて考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】レポートを期限内に積極的に取り組むことができる。スクーリングに意欲的に取り組む。	・指導事項 遺伝情報とDNA ・教材：スクーリング、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を見出して理解した。 【思考・判断・表現】塩基の相補性とDNAの複製を関連付けて理解し、日常生活と関連付けて考え、表現することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】スクーリングでの取り組み、実験に臨む態度	○	○	○	4
	単元 タンパク質と遺伝情報 【知識及び技能】DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見出して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】遺伝情報の構造に関する資料からタンパク質との関連を考え、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】レポートを期限内に積極的に取り組むことができる。スクーリングに意欲的に取り組む。	・指導事項 タンパク質と遺伝情報 ・教材：スクーリング、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見出して理解した。 【思考・判断・表現】遺伝情報の構造に関する資料からタンパク質との関連を考え、表現した。 【主体的に学習に取り組む態度】スクーリングでの取り組み、実験に臨む態度	○	○	○	4
	定期考査	生物の特徴、遺伝子とそのはたらき	定期考査	○	○		1

後期	<p>単元 体内環境</p> <p>【知識及び技能】体の調節に関して、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】体内環境維持のしくみについて、日常生活に関連付けて考え、表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】レポートを期限内に積極的に取り組むことができる。スクーリングに意欲的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 体内環境</p> <p>・教材：スクーリング、レポート</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】体の調節に関して、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを理解した。</p> <p>【思考・判断・表現】体内環境維持のしくみについて、日常生活に関連付けて考え、表現することができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】スクーリングでの取り組み、実験に臨む態度</p>	○	○	○	4
	<p>単元 免疫の働き</p> <p>【知識及び技能】免疫に関して、異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して、理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】免疫に関して、日常生活に関連付けて考え、表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】レポートを期限内に積極的に取り組むことができる。スクーリングに意欲的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 免疫のしくみ</p> <p>・教材：スクーリング、レポート</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】免疫に関して、異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して、理解した。</p> <p>【思考・判断・表現】免疫に関して、日常生活に関連付けて考え、表現することができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】スクーリングでの取り組み、実験に臨む態度</p>	○	○	○	4
	<p>単元 植生と遷移</p> <p>【知識及び技能】植生の遷移に関して、遷移の要因を見出し、理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】植生の遷移に関して、身近な植物や日常生活と関連付けて考え、表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】レポートを期限内に積極的に取り組むことができる。スクーリングに意欲的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 植生と遷移</p> <p>・教材：スクーリング、レポート</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】植生の遷移に関して、遷移の要因を見出し、理解した。</p> <p>【思考・判断・表現】植生の遷移に関して、身近な植物や日常生活と関連付けて考え、表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】スクーリングでの取り組み、実験に臨む態度</p>	○	○	○	4
	<p>単元 生態系とその保全</p> <p>【知識及び技能】生態系のバランスと人為的攪乱に関連付けて理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】日常生活と関連付けて生態系のバランスを理解し、生態系の保全の重要性を考え、表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】レポートを期限内に積極的に取り組むことができる。スクーリングに意欲的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 生態系とその保全</p> <p>・教材：スクーリング、レポート</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】生態系のバランスと人為的攪乱に関連付けて理解することができた。</p> <p>【思考・判断・表現】日常生活と関連付けて生態系のバランスを理解し、生態系の保全の重要性を考え、表現することができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】スクーリングでの取り組み、実験に臨む態度</p>	○	○	○	4
	定期考查	ヒトの体の調整、生物の多様性と生態系	定期考查	○	○		1
							合計
							34

高等学校 令和5年度（無学年用）教科

外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅠ

単位数：4 単位

対象学年組：第 無 学年 1組～ 8組

使用教科書：（ All Aboard English Communication I（東京書籍） ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・英語における文法や、慣用表現等、言語に関する事項を的確に理解することができる。 ・本文に描かれる人物の考えなどを、根拠を明らかにしながら読み解き、それを適切に説明することができる。	エッセーや海外の小説、物語、随筆などを的確に読み解くことを通して、国際社会や世界文化に対する考えを深め、より広い視野をもってものごとを判断する力を伸ばす。	作品や物語に描かれる出来事や人物等を通して、現代に生きる自分自身や社会の有り様を見つめなおそうとする姿勢が見られる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					知 思 態	評価規準	配当 時数
		聞	読	話 「や 」	話 「発 」	書			
英語のアルファベットを使って単語を正確に書き、発音する。授業における典型的な場面でよく使われる英語表現を理解し、実際に使ってみる。	アルファベットについて、その決まり事などを理解している。アルファベットを正しく認識し、書くことができる技能を身につけている。	○	○	○	○	○	○	①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
辞書の使い方と役に立つ用語について学習する。また、疑問詞のある疑問文と答え方を学習する。	辞書の使い方、疑問詞について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使うことができる技能を身につけている。	○	○	○	○	○	○	①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
be動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。自分の名前・性格・特徴などを、be動詞を用いて、相手に伝える技能を身につけている。	be動詞 自分の名前・性格・特徴などを整理して、相手が理解しやすいように伝えている。	○	○	○	○	○	○	①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。自分の日常の行動や食べ物の好みなどを、一般動詞を用いて、相手に伝える技能を身につけている。	一般動詞 自分の日常の行動や食べ物の好みなどを整理して、相手が理解しやすいように伝えている。	○	○	○	○	○	○	①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使おうとしている。	一般動詞 自分の日常の行動や食べ物の好みなどを整理して、相手が理解しやすいように伝えている。	○	○	○	○	○	○	①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
自分の日常の行動や食べ物の好みなどを整理して、相手が理解しやすいように伝えようとしている。	文法のまとめ、演習問題	○	○	○	○	○	○	①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
過去形：世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や相違を学習する。	Lesson1 過去形についての理解と定着	○	○	○	○	○	○	①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
過去形：好きな食べ物について、英語で述べるができる。	Lesson1 過去形についての理解と定着	○	○	○	○	○	○	①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
進行形：(be動詞+動詞の-ing形) オーストラリアの珍しい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。	Lesson2 進行形、文の構造についての理解と定着	○	○	○	○	○	○	①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2

前期	進行形： (be動詞+動詞の-ing形) 好きな動物について、英語で述べる ことができる。	Lesson2 進行形、文の構造についての理解 と定着										①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
	助動詞：can, will 被災地を運行する列車運転士のスピーチを 通して、職業の意義について考える。	Lesson3 助動詞についての理解と定着										①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
	助動詞：can, will ある場所への行き方とそこのできることに ついて、英語で述べるができる。	Lesson3 助動詞についての理解と定着										①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
	to不定詞：(to+動詞の原形) 海外の観光地について書かれたメールを通 して、その魅力について学習する。	Lesson4 to不定詞についての理解と定着										①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
	to不定詞：(to+動詞の原形) 行ってみたい場所について、英語で述べる ことができる。	Lesson4 to不定詞についての理解と定着										①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
	be動詞と一般動詞/否定文と疑問文	文法のまとめ, 演習問題										①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
	過去形/進行形 「『過去にしたこと』について伝える」 「『今していること』について説明する」	文法のまとめ, 演習問題										①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
助動詞can, willを用いた文の形・意味・ 用法 「自分ができることについて伝える」	文法のまとめ, 演習問題										①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2	

	to不定詞〈to+動詞の原形〉を用いた文の形・意味・用法 「今週末にやりたいことについて伝える」	文法のまとめ、演習問題													①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
	定期考査															1
	動名詞：〈動詞の-ing形〉 高校のユニークな部活動を通して、今好きなことと将来の夢について考える。	Lesson5 動名詞、接続詞についての理解と定着													①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
	動名詞：〈動詞の-ing形〉 将来の夢について、英語で述べるができる。	Lesson5 動名詞、接続詞についての理解と定着													①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
	受け身：〈be動詞+過去分詞〉 江戸時代の浮世絵師、歌川国芳についてのスピーチを通して浮世絵と現代マンガの関連性について考える。	Lesson6 受動態についての理解と定着													①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
	受け身：〈be動詞+過去分詞〉 好きな絵について、英語で述べるができる。	Lesson6 受動態についての理解と定着													①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
	動名詞〈動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法 「先週末に楽しんだことについて伝える」	文法のまとめ、演習問題													①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
	受け身〈be動詞+過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法 「人や物に焦点をあてて、『○○は…される』と説明する」	文法のまとめ、演習問題													①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
	比較表現：〈-er〉〈the -est〉〈as+原級+as〉 アンネ・フランクの生活と日記について紹介する授業を通して、生きることの意味について考える。	Lesson7 比較表現についての理解と定着													①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
	比較表現：〈-er〉〈the -est〉〈as+原級+as〉 関心のある人物について、英語で説明することができる。	Lesson7 比較表現についての理解と定着													①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
	現在完了形：〈have[has]+過去分詞〉 過去と現在のつながりについて説明する	Lesson8 現在完了形についての理解と定着													①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
後期	現在完了形：〈have[has]+過去分詞〉 人の生活を豊かにするロボットについて考え、英語で提案することができる。	Lesson8 現在完了形についての理解と定着													①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2
	比較表現〈-er〉〈the -est〉〈as+原級+as〉を用いた文の形・意味・用法 「2つ以上のものを比べて説明する」	文法のまとめ、演習問題													①スクーリングでの取組 ②レポートの内容 ③定期考査の得点 以上3点を総合的に評価する	2

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 家庭 科目 家庭総合

教科： 家庭 科目 家庭総合 単位数： 4 単位
 対象学年組： 第 1組～9組、A組

使用教科書：（東京書籍『家庭総合 自立・共生・創造』）

教科 家庭 の目標：

- 【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 生涯を見通す 【知識及び技能】 人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通した自己の生活について考えさせ、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯の生活設計について、課題の解決に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。	・指導事項 人生を展望して、生涯を見通してライフプランをつくる ・教材 ワークシート、レポート ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	2
第2章 人生をつくる 【知識及び技能】 家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭と法律について理解させる。 家族・家庭の意義について理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 青年期の自立と家族・家庭及び社会について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を身に付けさせる。	・指導事項 社会の中の家族・家庭 ・教材 ワークシート、レポート ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・家族・家庭の機能と家族関係について理解している。 ・家族・家庭と法律について理解している。 ・家族・家庭の意義について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・青年期の自立と家族・家庭及び社会について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	2

<p>第3章 子どもと共に育つ</p> <p>【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援、子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び子供の福祉について理解を深めさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 子供の健やかな発達を支えるために、子供との適切な関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 子供との関わりと保育・福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 子どもの育つ力を知る、子どもと遊び（壁面構成、おもちゃ制作）、子どもの食生活 ・教材 ワークシート、レポート、食材、画材、折り紙、妊婦模型 ・一人1台端末の活用 	<p>【知識及び技能】 ・乳幼児期の心身の発達と生活について理解を深めている。 ・子供の遊びと文化について理解を深めている。 ・親の役割と保育について理解を深めている。 ・子育て支援について理解を深めている。 ・子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び子供の福祉について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・子供の健やかな発達を支えるために、子供との適切な関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・子供との関わりと保育・福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>8</p>
<p>第4章 超高齢社会を共に生きる</p> <p>【知識及び技能】 高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題、高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護、高齢者福祉について理解を深めさせる。 高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する技能を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 高齢期の心身の特徴、介護実習 ・教材 ワークシート、レポート、高齢者疑似体験セット、車いす ・一人1台端末の活用 	<p>第4章 超高齢社会を共に生きる</p> <p>【知識及び技能】 ・高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題、高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護、高齢者福祉について理解を深める。 ・高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>4</p>
<p>第5章 共に生き、共に支える</p> <p>【知識及び技能】 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解しさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 社会保障の考え方 ・教材 ワークシート、レポート ・一人1台端末の活用 	<p>【知識及び技能】 ・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>2</p>

<p>第6章 食生活をつくる（前半）</p> <p>【知識及び技能】 ライフステージに応じた栄養の特徴、食品の栄養的特質、食品の調理上の性質、健康や環境に配慮した食生活について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 食品の調理上の性質について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 食生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。</p>	<p>・指導事項 食生活の課題、食事と栄養・食品</p> <p>・教材 ワークシート、レポート</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴について理解している。 ・食品の栄養的特質について理解している。 ・食品の調理上の性質について理解している。 ・健康や環境に配慮した食生活について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・食品の調理上の性質について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・食生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第6章 食生活をつくる（前半）</p> <p>【知識及び技能】 食品衛生について理解させる。 自己や家族の食生活の計画・管理、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主体的に食生活を営むことができるよう日本の食文化の継承・創造について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 食生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。</p>	<p>・指導事項 日常食、郷土料理の調理実習</p> <p>・教材 ワークシート、レポート、食材</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】 ・食品衛生について理解している。 ・自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている ・目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・主体的に食生活を営むことができるよう日本の食文化の継承・創造について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・食生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>第7章 衣生活をつくる</p> <p>【知識及び技能】 衣生活の自立に必要な技能を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。</p>	<p>・指導事項 ポケットティッシュ作りを通して補修の仕方</p> <p>・教材 ワークシート、レポート</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】 ・衣生活の自立に必要な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	○	4

後期	<p>第8章 住生活をつくる</p> <p>【知識及び技能】 防災などの安全や環境に配慮した住居の機能、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 住居の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む</p>	<p>・指導事項 快適で安全な住空間・住環境</p> <p>・教材 ワークシート、レポート、平面図、ハザードマップ</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】 ・防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解している。 ・適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・住居の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>第9章 経済生活を営む</p> <p>【知識及び技能】 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費行動における意思決定、家計の構造、家計管理、生活における経済と社会との関わりについて理解させる。 ・生活情報を適切に収集・整理できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した消費者として、責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・生活における経済の計画、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする力を育む</p>	<p>・指導事項 情報の収集・比較と意思決定、生涯の経済生活を見通す</p> <p>・教材 ワークシート、レポート、ゲーム</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費行動における意思決定について理解している。 ・生活情報を適切に収集・整理できる。 ・家計の構造について理解している。 ・家計管理について理解している。 ・生活における経済と社会との関わりについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した消費者として、責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・生活における経済の計画、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>第10章 持続可能な生活を営む</p> <p>【知識及び技能】 生活と環境との関わり、持続可能な消費、持続可能な社会へ参画することの意義について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする力を育む。</p>	<p>・指導事項 ホームプロジェクト、エコッキング</p> <p>・教材 ワークシート、レポート、食材</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】 ・生活と環境との関わりについて理解している。 ・持続可能な消費について理解している。 ・持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	○	4
				○	○		1
							合計
							50